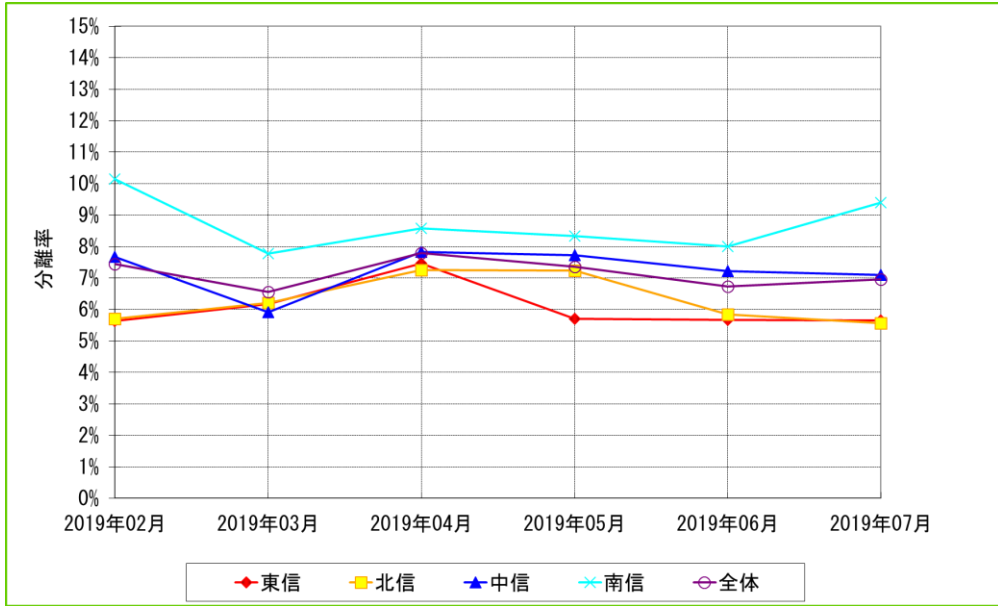


長野県各地区の耐性菌分離率

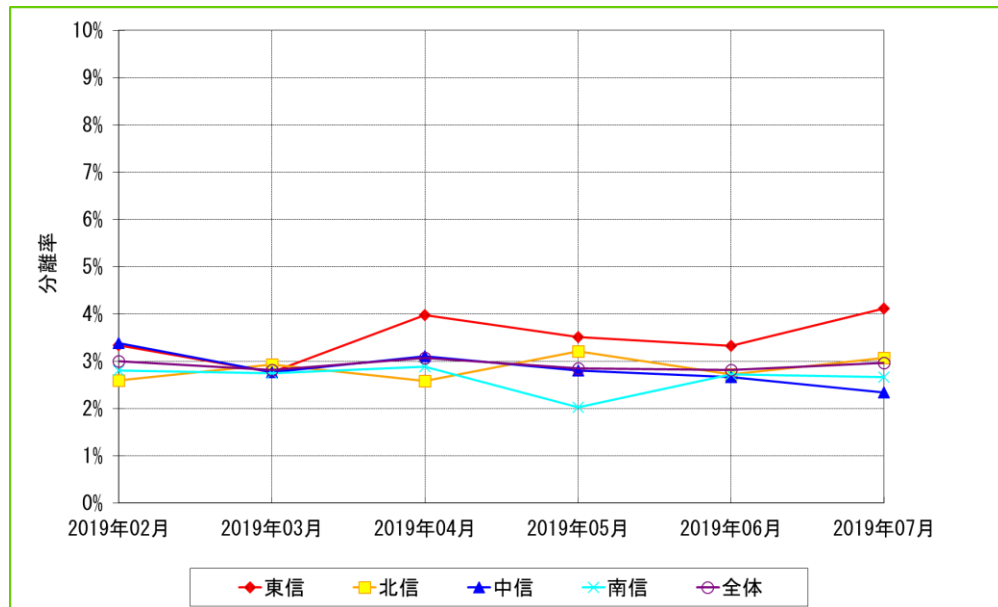
- 対象期間 : 2019年2月～2019年7月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2019年8月24日
- 集計対象施設数 : 60施設

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)



施設名	2019年02月			2019年03月			2019年04月			2019年05月			2019年06月			2019年07月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信計	958	54	5.64%	940	58	6.17%	1031	77	7.47%	1053	60	5.70%	990	56	5.66%	1044	59	5.65%
北信計	1421	81	5.70%	1501	93	6.20%	1475	107	7.25%	1591	115	7.23%	1506	88	5.84%	1562	87	5.57%
中信計	1330	102	7.67%	1371	81	5.91%	1509	118	7.82%	1462	113	7.73%	1427	103	7.22%	1495	106	7.09%
南信計	1428	145	10.15%	1452	113	7.78%	1387	119	8.58%	1429	119	8.33%	1324	106	8.01%	1353	127	9.39%
全体計	5137	382	7.44%	5264	345	6.55%	5402	421	7.79%	5535	407	7.35%	5247	353	6.73%	5454	379	6.95%

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌



施設名	2019年02月			2019年03月			2019年04月			2019年05月			2019年06月			2019年07月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信計	958	32	3.34%	940	26	2.77%	1031	41	3.98%	1053	37	3.51%	990	33	3.33%	1044	43	4.12%
北信計	1421	37	2.60%	1501	44	2.93%	1475	38	2.58%	1591	51	3.21%	1506	41	2.72%	1562	48	3.07%
中信計	1330	45	3.38%	1371	38	2.77%	1509	47	3.11%	1462	41	2.80%	1427	38	2.66%	1495	35	2.34%
南信計	1428	40	2.80%	1452	40	2.75%	1387	40	2.88%	1429	29	2.03%	1324	36	2.72%	1353	36	2.66%
全体計	5137	154	3.00%	5264	148	2.81%	5402	166	3.07%	5535	158	2.85%	5247	148	2.82%	5454	162	2.97%

長野県各地区の耐性菌分離率

- 対象期間 : 2019年2月～2019年7月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2019年8月24日
- 集計対象施設数 : 60施設

多剤耐性緑膿菌(MDRP)

施設名	2019年02月			2019年03月			2019年04月			2019年05月			2019年06月			2019年07月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信計	958	0	0.00%	940	0	0.00%	1031	0	0.00%	1053	0	0.00%	990	1	0.10%	1044	1	0.10%
北信計	1421	1	0.07%	1501	1	0.07%	1475	0	0.00%	1591	0	0.00%	1506	1	0.07%	1562	0	0.00%
中信計	1330	0	0.00%	1371	0	0.00%	1509	0	0.00%	1462	0	0.00%	1427	0	0.00%	1495	0	0.00%
南信計	1428	0	0.00%	1452	0	0.00%	1387	0	0.00%	1429	0	0.00%	1324	1	0.08%	1353	1	0.07%
全体計	5137	1	0.02%	5264	1	0.02%	5402	0	0.00%	5535	0	0.00%	5247	3	0.06%	5454	2	0.04%

抽出条件・統計処理

- ・対象期間の入院患者を対象とする。
- ・重複処理は患者IDが同じ場合1件とカウントする。
- ・耐性菌の分離率＝[(菌分離患者数)÷(検体提出患者数)]×100(%)
- ・過去月分の分離データは集計日以降に送信されたデータも含む。
(過去のレポートデータと異なることがあります、ご了承ください。)

信州インфекションコントロールサーベイランスシステム(SICSS) 耐性菌判定基準

菌名	概要	微量液体希釈法	ディスク拡散法
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	MPIPCが“R”の <i>Staphylococcus aureus</i> (またはCFXがディスク拡散法で“R”)、又は 選択培地でMRSAと確認された菌	MPIPC ≥ 4μg/mL	MPIPC ≤ 10mm CFX ≤ 21mm
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	下記条件をすべて満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・カルバペネム系が“R” ・アミカシンが“I”か“R” ・フルオロキノロン系が“R”(LVFX、CPFXのいずれか)	IPM・ MEPM ≥ 8μg/mL AMK ≥ 32μg/mL LVFX ≥ 8μg/mL CPFX ≥ 4μg/mL	IPM、MEPM ≤ 15mm AMK ≤ 16mm LVFX ≤ 13mm CPFX ≤ 15mm
第3世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX、CTRX、CFPMのいずれかが“I”か“R”、又はCAZが“R”の <i>Escherichia coli</i>	CTX ≥ 2μg/mL CTRX ≥ 2μg/mL CFPM ≥ 16μg/mL CAZ ≥ 16μg/mL	CTX ≤ 25mm CTRX ≤ 22mm CFPM ≤ 17mm CAZ ≤ 17mm